

「特別支援学校校内研究の推進研修講座」 公開講義（一部聴講）の御案内

長崎県教育センター

【講義】

特別支援学校における今日的課題と校内研究の方向性

平成27年5月18日（月）に実施予定の「セ14 特別支援学校校内研究の推進研修講座〈継続一前期〉」における講義を、受講者以外の先生方にも公開します。

特別支援学校においては、各学校の抱える課題やニーズに応じて研究主題を設定し研究を進めています。これらの研究を通して、自校の教育課程を改善し、一人一人の障害の状態やニーズに応じた教育活動を改善していくことが、障害のある子どもたちの自立や社会参加につながります。

教育課程の改善に向け、適切に各校の課題やニーズを捉えるためには、より広い視野で特別支援教育の全国的な動向や歴史的な背景を踏まえることが重要です。

当講義では福岡教育大学 特別支援教育講座 准教授 一木 薫先生をお招きし、特別支援学校の教育課程における課題やその改善に向けた校内研究の取組など、全国的な視野でのお話をさせていただきます。

日頃、校内研究を推進されている先生方、当講義のテーマに興味関心のある先生方は、ふるって御参加ください。

- 1 日 時 平成27年5月18日（月）
 - (1) 受付 9:00～9:30
 - (2) 講義 9:50～14:00
- 2 会場 長崎県教育センター 本館5階 研修室A
- 3 対象 小学校・中学校・特別支援学校教員（定員10名）
- 4 講師 福岡教育大学 特別支援教育講座 准教授 一木 薫 先生
- 5 申込みについて
 - (1) 方法 各学校で取りまとめ、電話にてお申し込みください。
 - (2) 申込期間 平成27年5月1日（金）～5月13日（水） ※土日・祝日を除く
 - (3) 申込先 長崎県教育センター 教科・経営研修課 特別支援教育研修班（担当：伊藤）
TEL 0957-53-1130
 - (4) その他
 - ・定員になり次第、締切ります。
 - ・公開講義の参加に要する旅費は、各学校負担となります。
 - ・できるだけ公共交通機関を御利用ください。

【講師紹介】

福岡教育大学特別支援教育講座 准教授 一木 薫 先生

■専攻・専門

肢体不自由児教育

主な研究領域：特別支援学校におけるカリキュラム研究、個別の指導計画をふまえた目標設定と学習評価、肢体不自由のある子どもの教科指導

■職歴

大学院修了後、筑波大学附属桐が丘特別支援学校に勤務（～2008年3月）

2008年4月より、福岡教育大学特別支援教育講座に勤務

■その他

文部科学省学習指導要領の改善のための調査研究協力者（2008年4月～2010年3月）

■主な著書

- ・筑波大学附属桐が丘養護学校（2008）肢体不自由のある子どもの教科指導Q&A～「見えにくさ・とらえにくさ」をふまえた確かな実践～、シアース教育新社
- ・筑波大学附属桐が丘養護学校（2008）肢体不自由教育の理念と実践、シアース教育新社
日本肢体不自由教育研究会（2009）専門性向上につなげる授業の評価・改善、慶應義塾大学出版会
- ・一木 薫・安藤隆男（2010）特別支援学校（肢体不自由）における自立活動を主として指導する教育課程に関する基礎的研究—教師の描く指導の展望に着目して—、障害科学研究、34、179-187
- ・一木 薫・安藤隆男（2011）重度・重複障害教育担当教師の描く指導の展望の背景と日々の職務への影響、障害科学研究、35、161-175
- ・一木 薫（2012）重複障害教育におけるカリキュラム研究の到達点と課題、特殊教育学研究、50（1）、75-85
- ・一木 薫・安藤隆男（2013）実施した指導の振り返りによる設定された指導目標・内容の妥当性の検討—自立活動を主とする教育課程を履修した卒業生の指導について—、障害科学研究、37、91-102

「訪問、重度・重複障害教育研修講座」 公開講義の御案内

長崎県教育センター

【講義・演習】

重度・重複障害のある児童生徒の学習評価

平成27年6月3日（水）に実施予定の「セ22 訪問、重度・重複障害教育研修講座」における講義・演習を、受講者以外の先生方にも公開します。

特別支援学校における重度・重複障害教育では、「教師の働きかけに対して、重度・重複障害のある児童生徒の行動をどのように評価するのか」また「教員同士でどのように共通理解を図るのか」等が課題となっています。

講義・演習では、福岡大学人文学部 徳永豊教授が中心となり作成された「学習到達度チェックリスト」を活用し、重度・重複障害のある児童生徒の学習評価について、次に示す内容の講義・演習をしていただく予定です。

- 重度・重複障害のある児童生徒の学習評価についての現状と課題
- 学習到達度チェックリストの特徴や学習評価の考え方
- 学習評価についてチェックリストを活用しての演習や協議

1 日 時 平成27年6月3日（水） 9：50～15：30

(1) 受付 9：00～ 9：30

(2) 講義・演習 9：50～12：00

13：00～15：30

2 会 場 長崎県教育センター 別館3階 第6研修室

3 対 象 特別支援学校教員（定員10名）

4 講 師 福岡大学人文学部 教授 徳永 豊先生

5 申込について

(1) 方 法 各学校で取りまとめ、電話にてお申し込みください。

(2) 申込期間 平成27年5月13日（水）～5月28日（木） ※土日を除く

(3) 申込先 長崎県教育センター 教科・経営研修課 特別支援教育研修班（担当：岡田）

TEL 0957-53-1130

- (4) その 他
- ・定員になり次第、締切ります。
 - ・公開講義の参加に要する旅費は、各学校負担となります。
 - ・できるだけ公共交通機関を御利用ください。

【講師紹介】

■ 教育歴

九州大学教育学部卒業

九州大学大学院教育学研究科修士課程教育心理学専攻修了

九州大学大学院教育学研究科博士課程教育心理学専攻退学

■ 職歴

平成元年8月：国立特殊教育総合研究所肢体不自由教育研究部研究員

平成7年9月：ロンドン大学教育研究所客員研究員（平成8年3月31日まで）

平成13年11月：国立特殊教育総合研究所知的障害教育研究部軽度知的障害教育研究室長

平成19年4月：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所企画部総括研究員

平成20年4月：福岡大学人文学部教授

■ 資格等

平成元年：臨床心理士資格取得（日本臨床心理士資格認定協会）

■ 専門領域

特別支援教育（肢体不自由・知的障害・発達障害・重複障害）

発達臨床学

■ 研究業績

- ・「障害の重い子どもの目標設定ガイド」 慶應義塾大学出版会、2014（編著）
- ・「重度・重複障害児の対人相互交渉における共同注意」 慶應義塾大学出版会、2009
- ・「自閉症教育実践マスターブック」 編著独立行政法人国立特別支援教育総合研究所、シアース教育新社、2008（編著・研究代表者）
- ・「肢体不自由教育の基本とその展開」 監修日本肢体不自由教育研究会、慶應義塾大学出版会、2007（編著）
- ・「コミュニケーションの支援と授業づくり」 監修日本肢体不自由教育研究会、慶應義塾大学出版会、2008（編著）
- ・「発達障害のある学生支援ガイドブック」 編著独立行政法人国立特殊教育総合研究所、シアース教育新社、2005（編著・研究代表者）
- ・教育におけるインクルージョンの国際比較（2005年調査） - 障害のある子どものインテグレーション、及びインクルージョン - 、世界の特別支援教育 22巻、93-104、2008
- ・イギリスにおける特別な教育的ニーズ・コーディネーターの取組、教育と医学 No.655、88-95、2008
- ・自発的な動きの乏しい重度・重複障害児の対人的相互交渉の成立について、特殊教育学研究 38(5)45-51、2001